

平成23年8月17日

宇治市長 久保田 勇 様

宇治市交通バリアフリー推進連絡会

委員長 新田 保次

宇治市では、平成17年に策定された「宇治市交通バリアフリー全体構想」に基づき、大久保駅周辺地区並びに宇治駅周辺地区の2地区において交通バリアフリー基本構想が策定され、この間、道路や駅のバリアフリー化をはじめ、地域の団体の方々による学校等での体験学習の実施など、ハード・ソフト両面からバランスの取れた取り組みが実施されてきました。

また、こうした事業の実施に係る連絡調整を目的として、平成20年1月より「宇治市交通バリアフリー推進連絡会」が設置され、事業実施段階での改善方策の検討や関係者相互の連絡調整など、バリアフリー化の推進に一定の役割を果たすことができたと考えております。

しかしながら、今後もさらなる高齢化の進展が見込まれるなか、市域全体のバリアフリー化に関するニーズは益々高まっており、平成22年度を目標年次としていた国の基本方針も、平成32年を目標年次とした新たな基本方針として改正されたところです。

当推進連絡会議は目標年次を平成22年度とした基本構想の枠組みの中での設置であったため、平成23年度をもってその役目を一旦終了することとなりますが、宇治市のバリアフリー化はまだ道半ばであり、さらなる事業の推進が必要であることから、当協議会の活動を終えるにあたり、各委員から出されたご意見を踏まえ、今後の宇治市におけるバリアフリー化の推進に向けて、下記のとおり意見を提出いたします。

記

1. 宇治市交通バリアフリー全体構想の基本理念・基本方針に基づき、市域における移動円滑化推進に引き続き積極的に取り組むこと。
1. 平成23年3月に改正された国の「移動円滑化の促進に関する基本方針」を踏まえ、宇治市においても平成32年を目標年次とする移動円滑化方策について、早期に検討を行うこと。
1. 上記の移動円滑化方策の実施にあたり、宇治市の移動円滑化推進に関する連絡調整を目的とした組織の設置を検討すること。